

# 会報

## 無肥研だより

### 第9号

2020年1月15日 発行



農産展をご覧になる堀江理事長

「無肥研だより」第9号をお届けいたします。今回は昨年11月17日に開催いたしました、無肥研にとりまして最大の行事であります、農産展とそれに関連する講演会や試食懇親会の様子、同年11月30日に開催されました京都市主催の「きょうと地域力アップおうえんフェア」に参加させていただきましたときの様子をご報告させていただきます。なお、「無肥研だより」を無肥研の広報誌として、様々な活動紹介に努めて参ります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

## ★ 活動報告

### 1. 無施肥無農薬栽培農産展 (2019年11月17日)

今回の農産展も、第1部、第2部、第3部という3部構成で企画しました。まず第1部では、無施肥無農薬栽培（以下「無施肥栽培」という）の農作物とパネルの展示、DVD映像による無肥研の活動紹介、長期無施肥栽培の桑による養蚕の展示及び農産物の即売を行いました。第2部では、「無施肥無農薬栽培茶と茶の今昔」という演題で、無肥研の会員で宇治茶の生産者である上嶋伯協氏による講演会をさせていただきました。第3部では、無施肥栽培の農産物の試食懇親会を行いました。どの会場でも来場者の熱心な意見交換が行われました。



#### (1) 農産展

今年は異常気象により梅雨入りが遅く、その後も台風や豪雨・長雨が続き、特に東北・東日本では日照不足という、農家の皆様には大変な年となりました。しかし、そのような気候にもかかわらず、北は北海道から南は沖縄まで、59の生産者とグループの皆様から、丹精を込めて作られ



来場者で賑わう農産展会場

即売会々場の様子

た無施肥栽培による農産62品目246点の出品を頂きました。堀江理事長と白岩副理事長をはじめ、研究者・生産者・流通業者・消費者など多くの方にご来場いただき、会場にはいくつものグループができ、熱心な情報交換や交流が行われ、終始活気に溢れていました。



堀江理事長から、無施肥栽培の作物は不順な天候であっても、そういう条件に合わせて自分を適応させていく力が非常に強いこと、無施肥栽培は自然の力をうまく利用した農法であって、環境に負荷が小さく環境を壊すことが少ない農法であるとのお話がありました。

## (2) 講演会「無施肥無農薬栽培茶と茶の今昔」上嶋伯協氏

農産展に続き、上嶋伯協氏による「無施肥無農薬栽培茶と茶の今昔」という講演を頂きました。上嶋氏は22年前に無施肥栽培を始められ、当時無施肥でお茶の生産ができるのか半信半疑であったこと、多少収量は落ちたけれども22年たった今でも安定して収穫できること、無施肥栽培の茶木には適応力があり、茶木自身が自分の力で木や葉を守るのであまり人の手を入れなくてもよいこと、適期にお茶刈りをし、草を生やさないようにすることにより、害虫がいなくなったこと等、無施肥栽培の茶木の特性についてお話を頂くとともに、お茶が日本に伝来した歴史についても合わせてお話を頂きました。また、消費者の好むお茶の味が変わってきたこと、生産者の考える良いお茶と消費者の考える良いお茶は違うこと、現在は味が薄くて少し深蒸しで、味より香



りを重視する傾向があることなどを話されました。このことは、慣行栽培と比べて、味は薄いですが香りが立つ無施肥栽培茶にとっては好都合なことであります。これからの無施肥栽培に一番大切なことは、地球に負荷をかけないようにして良いお茶を作るということを常に思っているかどうかにかかると話されました。

講演会終了後、聴講者から多数質問や意見があり、肥料がないと香りが増すこと、無施肥栽培茶は香りを楽しむお茶だから、何杯でも飲めることなど、お答え頂きました。



会場から質問する参加者

## (3) 試食懇親会



に使用された食材と、その産地、土・種の無施肥栽培開始年を表示させて頂きました。無施肥栽培の農産物42種類の食材を使った料理を味わいながら、61名の参加者が交流を深めました。

懇親会に先立ち、今回の懇親会の目玉企画として、参加者の皆様が大変楽しみにされていました、上嶋氏による「美味しい煎茶の淹れ方の講習会」をして頂き、全員で無施肥栽培の茶葉の味と香りを楽しみました。また、新たな企画としまして、並べられた料理一品一品



食材を確かめながら料理をとる参加者

堀江理事長や白岩副理事長、上嶋氏を囲んで、いくつもの交流の輪ができ、時間の経つのを忘れて活発な意見交換が行われました。



先生方を囲んで意見交換をする参加者



次回はさらに多くの無施肥培実施者の皆様は勿論、流通関係者・一般消費者にもご参加頂きまして、それぞれのお立場から知恵を出し合い、

無施肥栽培の一層の普及につながりますように、そしてこの輪がいつの日か一つの大きな輪になりますように願ってお開きとさせて頂きました。



## 2. きょうと地域力アップおうえんフェア (2019年11月30日)

令和元年11月30日(土)京都市主催による「きょうと地域力アップおうえんフェア」が、JR京都駅から南へ徒歩5分のイオンモールKYOTOにおいて開催されました。この催しは、京都市が地域活動や、NPO活動の取組みを「楽しく・わかりやすく」一般市民の皆様を紹介し、その意義や魅力、



出展準備に追われるスタッフ



無施肥の農産物をご覧になる京都市長

重要性等に気付いてもらうきっかけとすることを目的としたイベントです。今回は、20法人が思い思いのブースを出展し、活動紹介をさせて頂きました。無肥研も一般市民の皆様の日頃の活動を紹介する貴重な機会として、スケジュールが許す限り参加させて頂いています。

無肥研では、無施肥の米・茶・大根・みかん・レモンや、トマトジュース・味噌などの販売を通じて、自然環境保全の重要性をお話しするとともに、環境破壊の原因の一つに田畑に施す肥料や農薬があげられることをチラシにして配布させて頂きました。イベント全体への来場者は、例年に比べて少ないように感じましたが、その一方で無肥研のブースに来られる方は、前回に比べて増えており、農産物を覗き



来場者に説明する小林理事



来場者へ説明するスタッフ

込むようにご覧になって、「肥料・農薬は本当にやなくてよいのか」とお聞きになる方や、「試しに食べてみよう」とおっしゃるお子様連れの方など、多くの皆様にお買い上げ頂きました。中には京都市の関係者や、他のブース出展者の方で買って下さる方もおられ、一般の皆様の間でも肥料や農薬の怖さ、食の安全に対する意識の高まりは少しずつではありますが強くなってきていると感じた一日となりました。

## ★ 今後の行事予定

### 2020年3月15日(日) 通常総会・研究報告会・懇親会

会員の皆様にご出席頂き、当会の前年度の活動結果並びにその結果を踏まえた次年度の事業計画や活動予算等をご審議頂く**会員総会**と、どなたでもご参加いただける、当会の事業の柱であります無施肥栽培の調査研究の成果をご報告させて頂く**研究報告会**、皆様の意見交換の場としての**懇親会**を開催します。詳細は決まり次第、お知らせします。奮ってご参加ください。



昨年の研究報告会から

以上の他にも各種イベントの開催を検討しています。行事の詳細は、開催1ヶ月ほど前にご連絡させていただき、ご案内及びホームページでご確認ください。

会報についてのご意見を、郵便、FAX、e-mailでお寄せ下さい。皆様のお力で会報を充実させていきたいと存じますので、ご協力のほどお願い申し上げます。（編集担当）

〒606-8311 京都市左京区吉田神楽岡町106-2

【認定NPO法人】特定非営利活動法人 無施肥無農薬栽培調査研究会

e-mail : [mail@muhiken.or.jp](mailto:mail@muhiken.or.jp) FAX : 075-751-0368

URL : <https://muhiken.or.jp/wp/> Facebook : <https://www.facebook.com/muhiken/>